



NEW16番ホール

|ゴルフ場探訪|

小野グランドカントリークラブ (兵庫県)

大胆なオールド、精緻のニュー。二つの顔がゴルフの真髄を語る。
36ホール規模を誇る、関西屈指の本格派トーナメントコース。



NEW1番ホール

NEW7番ホール



NEW16番ホール

クラブハウス

堅牢な経営基盤に支えられた39年の歴史を誇るメンバーシップコース プロトーナメントを含め数々の名シーンを演出する戦略性の高い舞台

開場は1976年(昭和51年)12月4日。来年開場40周年を迎える関西を代表するトーナメントコース。コースが位置するのは、兵庫県のゴルフ銀座の中枢、小野市中谷町。中国自動車道・吉川ICから12kmとアクセスも良好。

なだらかな地形を活かした林間風のコースで全体的にフェアウエーは広く、グリーンも大きく豪快なプレーが楽しめるが、要所に設けられたバンカーやトラップが攻略ルートを考えさせる設計。

OLDコース(18H)は、開放感たっぷりのおらかなイメージ。フラットなホールが連続し、方向性を誤らなければスコアはまとまりやすい。一方、NEWコース(18H)は、63年に9ホールの増設が完成し18ホール規模と成ったが、距離も長く要所にマウンドがつけられ難度の高いレイアウトとなっている。鮮やかなベントグリーン、随所に配された池、深いバンカー、アンジュレーションのあるフェアウエーなどチャレンジ意欲を掻き立てる要素には事欠かない。

設計は、篠木隆明氏。バランスの取れた造形とゴルファーの心理をストーリーとして描く手法は斯界でも高く評価され自然印象派

の代表的存在だ。ラウンドスタイルはキャディー付セルフの選択制。NEWコースはキャディー付(平日、土曜日は希望によりセルフも可)。OLDコースは5人乗り乗用カートのセルフ。希望によりキャディー付も。平日のみ希望すればツースムも可能だ。

プロトーナメントを始め、数々のアマチュア競技の舞台として使用されることも多く、2014年10月30日〜11月2日には第24回日本シニアオープンゴルフ選手権競技(NEWコース使用)の舞台ともなった。その際には日頃のメンテナンスに加え随所で改修工事が施され、コースコンディションもさらに良化している。

経営の安定性と信頼度は上位クラス メンバーシップ制の堅持にも定評

コースの良さ、面白さはもちろん、ホームコースとして入会希望者が多い理由は経営の安定感と開場以来脈々と続くメンバーシップコースとしての誇りだ。会員本位の運営にも定評がある。

コースメンテナンスも良く、改修、改造にも積極的。会員は関西の財界人も多いが、どちらかといえばアットホームなクラブライフを希



第24回日本シニアオープンゴルフ選手権競技開催

望する中間層が主力。会員間の交流も活発で競技会への参加率も高く活気がある。大手エンタリー会社のコース総合評価も高く、ホームコース指定銘柄としては兵庫県下でも上位にランクされている。近年では若年層の入会も多い。

コースデータ

- コース規模 36ホール 134223Y P144
- OLDコース 18H 6421Y P72
- NEWコース 18H 7002Y P72
- グリーン 2ベント・グリーン (OLD NEW 共)
- 交通 中国自動車道、吉川インターから約12km